

サプライヤー基本原則

継続的な改善と責任ある調達のためのサプライヤーとの連携

目次

はじめに	3	私たちは、サプライヤーに多様性を求めます	12
適用範囲	3	「多様性を求める」というKHCの価値観	12
サプライヤー基本原則に対する当社のアプローチ	4	私たちは、動物の保護とその福祉に努めています	13
私たちは誠実にビジネスを行います	6	動物福祉に関するKHCポリシー	13
法令制の遵守	6	KHC動物福祉に関するポリシー実施ガイド	13
腐敗防止／贈収賄防止	6	私たちは環境の管理人です	14
贈答品および接待	6	ウォーター・スチュワードシップ	15
利益相反	7	廃棄物管理	15
業務記録の正確性	7	温室効果ガスの排出	15
公正な競争	7	農業慣行	16
データプライバシーと情報保護	7	生物多様性	16
機密保持	7	タンパク質源	17
国際貿易コンプライアンス	7	持続可能な梱包	17
私たちは人権と倫理的な労働慣行を尊重します	8	化学物質の使用による環境への影響の軽減	17
KHCグローバル人権ポリシー	8	森林伐採	17
児童労働	8	Kraft Heinzのサプライヤーに対する責任	18
責任ある採用	8	動物福祉に関するKHCポリシー	18
出稼ぎ労働者	9	KHC動物福祉に関するポリシー実施ガイド	18
強制労働または非自主的な労働	9	実践とトレーニング	19
労働時間、1週間の労働時間および賃金の支払	9	サプライヤーの実践	19
差別の禁止	9	トレーニング	19
結社の自由と団体交渉	9	監視とコンプライアンス	20
土地の権利	9	監視	20
言語に関する考慮事項	9	外部監査	21
私たちは、従業員は安全で衛生的な職場を持つ権利があると考えます ...	10	コンプライアンス違反への対処	21
安全衛生	11	懸念の報告	21
設備	11		
ハラスメント、虐待、および懲戒処分	11		

はじめに

Kraft Heinz Company（「Kraft Heinz」）では、当社のビジョン「世界中のより多くの消費者を満足させることで持続的に成長する」が原動力となっています。企業として、私たちは正しいことを行うと同時に、地球を保護し、責任あるビジネス慣行を推進し、私たちが生活し働く地域社会を支援する改善策に貢献する責任を担います。

このサプライヤー基本原則（以下「本原則」または「本ポリシー」）は、当社のすべてのサプライヤーに対する当社の要件、基準、および期待事項を概説するものです。本ポリシーは、世界的な基準であり、業界のベストプラクティスと国際的に認められた基準に基づいています。

各サプライヤーは、本ポリシーの遵守を徹底する責任を負います。サプライヤーは、本ポリシーに則った方法で下請業者およびサプライチェーンを管理する必要があります。

適用範囲

これらの原則は、Kraft Heinzの環境・社会・ガバナンス（ESG）および倫理・コンプライアンスプログラムの重要な柱であるほか、当社のサプライチェーン全体における公正かつ安全で、法令を遵守した、透明で、責任ある、衛生的な労働条件に対するKraft Heinzの期待事項を定義することで、誠実かつ倫理的な方法でビジネスを行うという当社の揺るぎないコミットメントによって導かれます。これらの原則は、随時修正される場合があります。

これらの原則は、世界中のKraft Heinzのサプライヤー、その子会社、および事業部門（以下、総称して「Kraft Heinz」という）が遵守することが期待される要件とビジネス慣行を概説しています。これらの原則で使用される場合、「サプライヤー」という用語は、Kraft Heinzおよびその下請業者に対する製品および/またはサービスの直接的および間接的なサプライヤーを指します。「サプライヤー」という用語には、請負業者、外部製造業者、ベンダー、サービスプロバイダー、労働提供者、流通業者、ライセンサー、合併事業パートナーが含まれます。また、これらの原則は、Kraft Heinzのサプライヤーによって雇用されている「従業員」、ならびにそのサプライヤーの下請業者および下流サプライヤーにも適用されます。これには、正社員、臨時社員、フルタイム、パートタイム、または有期雇用の従業員、派遣会社社員、出稼ぎ労働者、合法的な若年労働者（未成年者）、研修生、出向者、および学生の就業体験が含まれますが、これらに限定されません。

これらの原則を受け入れ、本書に含まれる要件に従うという約束は、Kraft Heinzとのサプライヤー契約の約定または発注書の一部となります。特定のサプライヤー契約には、これらの問題の一部に対処する、より具体的な規定が含まれている場合があります。本ポリシーのいかなる規定も、サプライヤー契約におけるより具体的な規定に優先するものではありません。



サプライヤー 基本原則に対する 当社のアプローチ

Kraft Heinzでは、当社の業務の重要な一環として、サプライヤーと連携して、社会的および環境的要因への対処、および継続的な改善を行っています。私たちは、責任ある調達に対する当社の取り組みを、サプライヤーの皆様にも共有していただくことを求めています。

本ポリシーに概説される**必須要件**および**期待される慣行**は、業界のベストプラクティスおよび国際的に認められた基準（国連企業および人権に関する指導原則、国際人権典章、国際労働機関の労働における基本的原則および権利に関するILO宣言を含みますが、これらに限定されません）に基づいて規定されています。

私たちは、日々、より良いものを目指すというコミットメントをサポートするために、コラボレーション・プラットフォームに積極的に参加し、業界標準に照らしてベンチマーク評価を行い、ESGエンゲージメント・プログラムを通じて社内外のステークホルダー（ESGレポートで定義）と密接に連携しています。これらの原則は、責任ある調達に関する当社の現在の立場を反映しており、当社は、本ポリシーを継続的に積極的に見直し、本ポリシーに定める要件および期待事項を評価して、適切な更新を実施します。

要件と慣行

Kraft Heinzのすべてのサプライヤーは、本ポリシーに概説される必須要件を遵守する必要があり、サプライヤーには、さらなる改善の取り組みの指針として、本ポリシーに含まれる期待される慣行を使用することが推奨されます。

- ✓ **必須要件**は、Kraft Heinzのサプライヤーとして許容される最低限の行為について規定しています。
- ✓ **期待される慣行**は、まだ必須ではないものの、将来的に必須要件となり得るのある行為または慣行の概要を説明しています。すべてのサプライヤーは、リスク評価の実施、経営計画の策定、継続的な改善目標の設定を通じて、期待される慣行の達成に向けて努力することが強く推奨されます。努力は測定可能で、監視できる必要があります。

サプライヤー基本原則

継続的な改善と責任ある調達のためのサプライヤーとの連携



私たちは誠実にビジネスを行います。



私たちは人権と倫理的な労働慣行を尊重します。

私たちは、従業員は安全で衛生的な職場を持つ権利があると考えます。



私たちはサプライヤーに多様性を求めます。



私たちは動物の保護とその福祉に努めています。



私たちは環境の管理人です。

私たちは誠実にビジネスを行います。

✔ **必須要件:** 以下はすべて、当社のサプライヤーに対する必須要件です。

✔ 法令制の遵守

サプライヤーは、事業を行う国のすべての適用法令、ならびにKraft Heinzへの製品および/またはサービスの提供にすべての適用法令を遵守しなければなりません。

✔ 腐敗防止／贈収賄防止

サプライヤーは、直接的または間接的に、不正なビジネス上の利益と引き換えに、支払い、約束、申し出をしたり、贈答品、インセンティブを与えたり、何らかの利益となるものを提供したりしてはなりません。サプライヤーは、米国海外腐敗行為防止法、英国贈収賄法、カナダ外国公務員腐敗防止法、および/またはその他の適用される腐敗防止法および贈収賄防止法を完全に遵守して行動しなければなりません。サプライヤーは、横領、恐喝、贈収賄、および腐敗行為（円滑化のための支払いの禁止を含む）に関する問題を一切容認しない立場をとらなければなりません。サプライヤーは、Kraft Heinzの倫理・コンプライアンス第三者デューデリジェンスプロセスに従う必要があります。このプロセスでは、サプライヤーは、Kraft Heinzと取引を行う前に、政府職員または政府機関、政党の代表者、またはKraft Heinzの従業員との業務上または所有権の関係を申告する必要があります。

✔ 贈答品および接待

Kraft Heinzの従業員は、ビジネスパートナーとの間で贈答品の授受を行ってはなりません。ただし、ロゴ付きの販促品など、ささいで付随的な少額の物品は例外とします。サプライヤーから提供される贈答品または接待は、正当な業務上のためのものでなければならず、不正な利益を確保したり、その他、影響を及ぼしたりすること（または事業上の決定に影響を及ぼすように見えるもの）を意図したものであってはならず、贈答品または接待の授受が行われる国の法律に違反してはなりません。贈答品または接待の提供は、高価または頻繁であってはならず、妥当な価値でなければならず、正当な業務上の目的を果たすものでなければなりません。

利益相反

サプライヤーは、Kraft Heinzとの業務活動を行う上で、実際の利益相反または潜在的な利益相反の影響を受けないようにしなければなりません。サプライヤーは、自身が関与することになった（または関与する予定がある）ビジネス関係で、実際に利益相反が生じる、または利益相反が生じる可能性がある、または利益相反と見られる可能性のあるものを直ちに開示しなければなりません。

業務記録の正確性

サプライヤーは、すべての商取引およびビジネス取引を完全、透明、正確、かつ適時に記録し、維持するものとします。サプライヤーは、サプライヤーのビジネス記録の情報を偽造、省略、虚偽表示、隠匿してはなりません。すべての適用法令および一般に認められた会計原則に従って、会計帳簿をつけなければなりません。

公正な競争

サプライヤーの世界での競争は誠実に行う必要があります。サプライヤーは、直接的または間接的に、競合他社との違法または違法な協力に関与したり、競合他社と競争または競争上の機密情報について話し合ったり、取引の制限や競争の減少に同意したりしてはなりません。サプライヤーは、適用されるすべての競争法令または独占禁止法令を遵守しなければなりません。

データプライバシーと情報保護

サプライヤーは、データおよび情報（個人データまたは個人情報とみなされる、特定されたまたは特定可能な個人に関するデータおよび情報を含む）の保護、プライバシー、および/または処理に関するすべての適用法令を遵守しなければならず、Kraft Heinzをかける法令に違反させてはなりません Kraft Heinzに代わって個人データを処理するサプライヤーは、Kraft Heinzが契約条項、またはその他の方法で書面でサプライヤーに提供するデータ処理要件に従って、かかる個人データを処理することに同意します。サプライヤーは、サプライヤー、その代理人、または下請業者が所有する（またはサプライヤー、その代理人、または下請業者の指示により処理される）Kraft Heinzのデータまたは情報に関して、不正アクセス、盗難、喪失、誤用、損害、またはその他のセキュリティ違反に気付いた場合、直ちにKraft Heinzに通知しなければなりません。

機密保持

サプライヤーは、Kraft HeinzまたはKraft Heinzのビジネスパートナーに属する機密情報、企業秘密、および/または知的財産を適切に管理し、保護しなければなりません。これらの情報は、機密保持が維持され、（サプライヤーがKraft Heinzと秘密保持契約を締結した場合でも）当該情報が開示されないよう徹底して、共有されず。サプライヤーは、Kraft HeinzまたはKraft Heinzのビジネスパートナーに属するかかる機密情報の不正な開示、喪失、または漏洩があった場合、実行可能な限り速やかにKraft Heinzに通知し、違反に関連する潜在的リスクを軽減するために、最善の努力を払わなければなりません。Kraft Heinzについての機密情報または専有情報は、インサイダー取引、またはKraft Heinzおよびその請負業者への商品および/またはサービスの供給とは無関係のその他の活動に従事したり支援するために使用してはなりません。

国際貿易コンプライアンス

サプライヤーは、適用されるすべての経済制裁、輸出規制、反ボイコット法、規制、命令、指定、ライセンス、および関連する指令を遵守しなければなりません。サプライヤーは、これらの法律に違反し、Kraft Heinzがかかる法律に違反することになるリスクを最小限に抑えるために、効果的な内部統制を実施する必要があります。

私たちは人権と倫理的な労働慣行を尊重します。

Kraft Heinzは、責任あるビジネス慣行を維持し、尊厳をもって人を扱い、人権を尊重することに努めています。

✔ **必須要件:** 以下はすべて、当社のサプライヤーに対する必須要件です。

✔ 児童労働

サプライヤーは、直接、またはその請負業者または下請業者を通じて間接的に児童労働を使用しないものとし、児童労働の使用を禁止するポリシーを定めなければなりません。サプライヤーは、適用法またはILO条約第138号のいずれかのうち、より厳しい方により定められている最低雇用年齢制限を遵守します。ILO条約第138号の最低雇用年齢は、現地の義務教育終了年齢ですが、15歳（一部の発展途上国では14歳）以上でなければならず、ILOおよび適用法により許可される例外の対象となります（義務教育を妨げない家族経営の農場での軽労働など）。雇用の最低年齢を超える子供は、身体的、精神的、または感情的発達を害する可能性のある過度の身体的リスクにさらされてはなりません。18歳未満の人は、夜間または危険な状況（重機の操作や有害化学物質の取り扱いなど）で雇用してはなりません。

✔ 責任ある採用

サプライヤーは、採用者に不要なリスクの暴露、搾取、不当な金融債券が課されることを防止するために、専門的、倫理的、安全、堅牢、責任ある採用慣行を維持するものとします。Kraft Heinzは「雇用者負担の原則」を遵守します。そのため、サプライヤーは、個々の従業員や求職者がその職務に対して請求を受けず、従業員ではなく雇用主が採用の経費を負担するように保証する必要があります。

📌 出稼ぎ労働者

出稼ぎ労働者（出身国以外で働く人々）については、人権侵害や搾取に対する脆弱性から守るために、一層の配慮が必要です。サプライヤーは、出稼ぎ労働者へのリスクに対処するため、関連する人事管理システムおよびポリシーを導入または強化する必要があります。出稼ぎ労働者は、雇用条件を強要する、または離職する能力に影響を与えることを目的として、当局への告発や公文書発行拒否を脅かされないものとします。

📌 強制労働または非自主的な労働

Kraft Heinzは、囚人労働、契約労働、奴隷労働、軍による強制労働、奴隷労働、またはあらゆる形態の人身売買を含む、あらゆる形態の強制労働、拘束労働、年季奉公労働または強制労働の使用を禁止しています。すべての従業員は、任意の条件の下で、いつでも雇用を終了できる自由を持って、労働しなければなりません。

📌 労働時間、1週間の労働時間および賃金の支払

サプライヤーは、賃金、残業手当、福利厚生、休暇、および最大労働時間数に関するすべての適用法令を遵守しなければなりません。従業員は公正かつ公平な給与を受け取る必要があります。また、サプライヤーは、所定労働時間および時間外労働時間の制限に関する法律を尊重し、時間外労働は自発的に行われ、公正な対価が支払われるように徹底します。

法律で別途規定がない場合、サプライヤーは、7日ごとに少なくとも1回連続24時間の休憩期間を設ける必要があります。従業員は、妥当な休憩時間、年次休暇、および有給休暇を得る権利があります。

📌 差別の禁止

サプライヤーは、採用、契約、雇用慣行（報酬、昇進、懲戒処分、解雇、退職を含みますが、これらに限定されない）において差別を行ってはなりません。サプライヤーは、人種、年齢、役割、性別、性自認、肌の色、民族、宗教、出生国、性的指向、婚姻状況、妊娠、扶養家族、障害、社会階級、労働組合への加入、および/または政治的見解に基づいて差別を行わないものとします。また、サプライヤーは、適用法令によって保護されているその他の条件や特徴に基づいて差別しません。

📌 結社の自由と団体交渉

サプライヤーは、各従業員の結社の自由と団体交渉に関わる権利を認識し、尊重するものとします。サプライヤーは、報復、脅迫、またはハラスメントの恐れのない、プロフェッショナルな環境を維持することで、これらの権利を尊重しなければなりません。

📌 土地の権利

Kraft Heinzは、あらゆる形態の違法な土地取得に反対しています。サプライヤーは、その事業により影響を受ける女性、先住民、および地域社会の土地の権利を尊重し、また調達業務において、国連食糧農業機関の自由、事前、および情報に基づいた同意の原則を遵守しなければなりません。サプライヤーは、いかなる形態の土地の横領にも関与してはなりません。Kraft Heinzは、すべてのサプライヤーに対し、土地利用権に関する法令を遵守することを求めます。これには、適切な土地利用許可（例：農業、製造業、またはその他の産業用）の取得、近隣の河川や湖などの地下水やその他の水源の使用許可の取得が含まれますが、これらに限定されません。

📌 言語に関する考慮事項

従業員の権利、雇用条件、および安全に関する考慮事項に関する主要な文書は、赴任国/地域の言語で入手できなければなりません。

- 📌 **必須要件：**本ポリシーの遵守に加え、すべてのサプライヤーは、[Kraft Heinzのグローバル人権ポリシー](#)に含まれる関連基準および責任あるビジネス慣行を守る必要があります。

私たちは、従業員は安全で衛生的な職場を持つ権利があると考えます。

Kraft Heinz Companyは、従業員、下請業者、および当社の施設を訪れるすべての人々のために、衛生的で安全でセキュアな職場を提供することに努めています。私たちは、業界を問わず、すべての雇用主が、職場の安全衛生プログラムにおいて高い水準を維持し、従業員の保護を確保する責任があると考えています。

✔ **必須要件:** 以下はすべて、当社のサプライヤーに対する必須要件です。

安全衛生

サプライヤーは、従業員の安全衛生に関するすべての適用法令を遵守し、安全衛生条件に対する責任を上級管理職の担当者に割り当てるものとします。さらに、Kraft Heinzはサプライヤーに対し、少なくとも以下の安全衛生基準を維持することを求めています。

- ・ 職場は、安全衛生を害するものであってはならず、認識された危険があってはなりません。
- ・ 従業員が現地の法律に準拠した個人用保護具、基準（該当する場合、OSHA）および世界保健機関（WHO）の推奨事項（世界の衛生上の危機に関連するもの）を利用できるようにします。
- ・ 化学物質は安全に保管・取り扱う必要があります、使用されるすべての化学物質のリストを用意して、要請があれば利用できるようにしなければなりません。
- ・ 安全衛生に関するトレーニングを、国/地域の言語で従業員に提供しますが、従業員の30%が別の言語を話す場合、業務の範囲に応じて、翻訳が掲示され、（化学物質に関するものを含む）サプライヤーは、提供されるすべてのトレーニングの記録を保持する必要があります。
 - ・ 従業員は、緊急医療を受けられる必要があります、すべての
 - ・ 職場に、明確に特定された非常口を設ける必要があります。適宜、安全標識には翻訳を掲示しなければなりません。

設備

サプライヤーは、従業員に飲料水、清潔なトイレと手洗い施設、適切な暖房および換気設備、食品保管用衛生設備および衛生設備へのアクセスを提供するものとします。施設には、緊急時用に、明確に表示された、利用可能な出口が必要です。サプライヤー、労働力の提供者、またはその他の下請業者のいずれかが従業員に居住用施設を提供する場合、サプライヤーは施設が清潔で、安全で、構造上メンテナンスされていることを確認する必要があります。

ハラスメント、虐待、懲戒処分

すべての従業員には、敬意と尊厳をもって扱われる権利があります。サプライヤーは、体罰の使用を禁止するポリシーと慣行を定め、従業員がその他の形態の身体的、性的、心理的、または口頭によるハラスメントおよび/または虐待を受けることのないようにしなければなりません。懲戒処分は、適切な場合に限り、プロフェッショナルかつ倫理的な方法で行われなければならない、金銭的な罰金は含まれません。サプライヤーは、すべての従業員に対し、秘密厳守の苦情処理システムへのアクセスを提供するものとします。






私たちはサプライヤーに 多様性を求めます。

Kraft Heinzにおけるサプライヤーの多様性は、当社のコアバリューの1つである「多様性を要求する」に根ざしています。私たちは、当社の成功は、当社のビジネス慣行が日々より多様でインクルーシブになることにかかっていると考えています。当社は、当社の供給基盤が当社従業員を代表するようにすることで、過小評価されている地域社会の改善を推進することに努めています。サプライヤーの多様性は、Kraft Heinzが当社の価値観を将来のビジネスビジョンに統合するために取り組む多くの方法の1つです。

当社は、調達活動に多様なサプライヤーを公正に組み入れることに努めています。私たちは、サプライヤーと当社のバリューチェーン間のつながりが、女性、少数民族、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの人々、障害のある人、退役軍人、SBA-HUBZoneが所有する企業にとって、さらに利用しやすく、インクルーシブになるよう努めています。私たちは、これらの多様な業種とビジネスパートナーシップを構築し、支出を増やす機会を積極的に模索しており、当社のビジネス慣行を見直し、既知の障壁を取り除くために継続的な改善アプローチを取っています。

✓ **期待される慣行:** Kraft Heinzは、サプライヤーの多様性をその独自の調達慣行、ポリシー、管理計画にサブ組み込むことで、より多様でインクルーシブなビジネス慣行を追求する当社の取り組みに参加するよう、サプライヤーを招待しています。私たちは、KHCとの将来のビジネス機会に参加するよう、多様なサプライヤーを招待します。



私たちは動物の 保護とその福祉に 努めています。

Kraft Heinzは、人道的な動物の扱いと動物福祉の継続的な改善に努めています。当社は、サプライヤーによるいかなる動物虐待も容認しません。Kraft Heinzは、サプライヤーに対し、（動物福祉において国際的に認知されている）「5つの自由」：

- ・ 飢え・渇きからの自由
- ・ 肉体的・熱的不快からの自由
- ・ 痛み・負傷・病気からの自由
- ・ 本来の行動がとれる自由
- ・ 恐怖・抑圧からの自由、を支持し、それに向けて継続的に努力することを義務付けています。

✔ **必須要件：**本ポリシーに加えて、Kraft Heinzのすべての直接サプライヤーは、[動物愛護ポリシー](#)および動物愛護に関するポリシー実施ガイドを遵守しなければなりません。Kraft Heinzによる動物製品の購入先であるすべてのサプライヤーは、毎年Kraft Heinzが提供するグローバル動物愛護リスク評価に参加することが期待されます。

私たちは環境の 管理人です。

Kraft Heinzの環境スチュワードシップは自社の業務のフットプリントから始まります。Kraft Heinzは、水とエネルギーの保全、排出量の削減、廃棄物の最小化、そしてパッケージの持続可能性の向上に積極的に取り組んでいます。当社の環境スチュワードシップは、当社のサプライチェーン内の活動にも及び、サプライヤーは、材料、製品、および業務の環境負荷を最小限に抑える責任も負います。

気候変動と環境破壊の脅威が高まっていることは、これまで以上に明らかです。Kraft Heinzは、「責任ある調達」という当社の戦略的ピラーの下で、気候変動対策と環境保全に対して総合的なアプローチを取ることに努めています。当社は、環境の保護と保全を目的として、サプライヤーと協力してリスクに対処し、持続可能なソリューションと管理慣行を開発することに努めています。

- ✓ **必須要件:** サプライヤーは、少なくとも、自らの業務において適用されるすべての環境法および規制を遵守しなければなりません。該当する場合、追加の必須要件がこのセクションで強調されています。
- ✓ **期待される慣行:** すべてのサプライヤーは、その業務およびサプライチェーン内における環境リスクと影響を認識、理解する必要があります。当社のサプライヤーは、このセクションで強調されている環境に関するベストプラクティスに向けて取り組みを開始する必要があります。

ウォーター・スチュワードシップ

Kraft Heinzは、自社の業務における水管理のベストプラクティスに努めており、当社の集成的な環境負荷を最小限に抑えるために、すべてのサプライヤーに効果的な水管理を導入することを期待しています。

✔ **必須要件:** 水ストレスが高い地域（国連の水プログラムで定義され、国連のCEOウォーター・マンドートのツールで評価）で業務を行うサプライヤーは、以下の慣行を採用する必要があります。

- ▶ 水の消費を削減する目的で水管理計画を導入し、
- ▶ 可能な場合は、自社の業務のなかで水をリサイクルまたは再利用する。

✔ **期待される慣行:** Kraft Heinzの国連グローバル・コンパクトCEOウォーター・マンドートへの誓約の一環として、当社はすべてのサプライヤーが以下の方法で水管理を改善するよう努力することを期待しています。

- ・ 流域のリスクの分析と対応
- ・ 水の使用量と影響評価の実施（水の保全方法の評価を含む）
- ・ 水管理の報告と開示
- ・ 農業活動における効率的なかんがい方法の採用と流出リスクの軽減の追求
- ・ 天然水源（地下水、海、川、湖など）の品質と供給の保全
- ・ サプライチェーンパートナー間での水の保全のベストプラクティスの共有

廃棄物管理

Kraft Heinzでは、廃棄物を総合的に考えます。当社の業務では、廃棄物の削減、再利用、リサイクルが可能なところを判断するのに役立つ詳細な廃棄物評価を導入しています。Kraft Heinzは、固形廃棄物の90%以上を、世界中の製造現場でリサイクルまたは副産物の使用に流用しています。

✔ **必須要件:** サプライヤーは、適用されるすべての廃棄物処理および処理に関する法令を遵守し、廃棄物および水の使用および処分に関する有効かつ最新の許可を得なければなりません。

✔ **期待される慣行:** すべてのサプライヤーは、廃棄物の削減と資源の責任ある使用を促進するよう努力する必要があります。削減、再利用、リサイクルの取り組みと効率の改善による埋め立て地からの廃棄物の転用は、すべてのサプライヤーが業務において検討することが求められる標準的な慣行となっています。包括的な廃棄物管理と転用プログラムの採用に加えて、すべてのサプライヤーは、以下のベストプラクティスを検討する必要があります。

- ・ 廃棄物、化学物質、その他の危険物質の取り扱いや廃棄には、環境に関する予防策を講じる。
- ・ 処理済みの廃棄物を除き、廃棄物は、適用法令および適用される許可に従って、河川、湖、地下水、海などの水域に廃棄しない。
- ・ 処理されていない下水や洗浄水を地下水や地下水域に廃棄しない。
- ・ バイオ廃棄物の責任ある廃棄のための対策を実施する。

温室効果ガスの排出

気候変動への対処とは、ビジネス慣行と温室効果ガス排出への影響を再考することを意味します。Kraft Heinzは、2025年までに、購入する電力の大半を従来のエネルギー源から再生可能エネルギーに移行することを約束しました。

✔ **必須要件:** サプライヤーは、温室効果ガスプロトコルの要件と規定に従い、スコープ1およびスコープ2の排出量を効果的に測定し、報告しなければなりません。

✔ **期待される慣行:** 当社の環境フットプリントの最大80%は、上流のサプライチェーンから生じています。当社は、サプライヤーにも、エネルギー消費量を削減し、代替再生可能エネルギー源を優先することを期待しています。また、サプライヤーは、自社のスコープ3排出量について理解を深めるための措置を取る必要があります。



農業慣行

Kraft Heinzは、責任ある農業慣行の長年にわたる伝統をもち、持続可能な農業プログラムによって具現化された、持続可能な農業へのコミットメントを新たにしています。「Kraft Heinzの持続可能な農業慣行」は、Kraft Heinzが2025年までにKeinzケチャップトマトの100%を持続可能な方法で調達することを目指すうえで、当社のエンゲージメント戦略の指針となります。

土壌は作物の生産性、環境の持続可能性、および人間の健康を維持する上で重要な役割を果たしているため、サプライチェーン内の土壌の健康を改善する慣行を前進させるために、私たちは懸命に努力しています。私たちは、土壌の長期的な健康と保全のために、土壌の質への影響を最小限に抑えるために適切な措置を講じるべきであると考えています。適切な土壌管理は、農家が長期的に生計を立てて収穫を得られるようにします。

- ✔ **必須要件：**サプライヤーは以下を行ってはなりません。
 - ・ 業務を行う国において違法と見なされる農薬または除草剤を使用すること
 - ・ 世界保健機関のセクション1aおよび1bならびにロッテルダム条約リスト上の化学物質および農薬を使用すること
- ✔ **期待される慣行：**サプライヤーは以下を行う必要があります。
 - ・ Kraft Heinzの持続可能な農業慣行（利用可能な場合はハイパーリンクを追加）の実施に努める
 - ・ 土地の準備方法として焼き畑農業を使用しない（環境評価で有益であると判断される場合を除く）または収穫廃棄物の処分手段として使用しない
 - ・ 水、肥料、およびその他使用されている項目などの使用量を測定し、要請に応じて、Kraft Heinzに使用量を文書化して提示する
 - ・ 土壌のサンプルを採取して、土壌に必要な栄養素を検証し、資源を過剰に使用せずに、土壌の健康を効率的に管理する

生物多様性

生物多様性の維持は、バランスのとれたエコシステムを維持する上で重要な要素です。生物多様性は、地球の生態系生命サポートの役割を果たし、地球の食品システムの成長を持続的に支援する上で重要です。Kraft Heinzは、生物工学（「BE」）技術は食品の供給量を増やし、コストを手頃な価格に維持し、殺虫剤や水、全体的な生産コストを低減するのに役立つと考えています。そのため、当社は、生物工学によって作られた成分の使用および/または表示を規制するすべての法律を遵守し、外部組織と提携して「非BE」表示を認定しています。

- ✔ **必須要件：**サプライヤーは、BE成分の使用および/または表示を管理する、あらゆる法令を遵守するものとし、以下の慣行は、すべてのサプライヤーに義務付けられています。
 - ・ 法的に明示的な許可を得ずに、希少種および/または絶滅危惧種のハンティング、漁獲、または収集を禁止する。
 - ・ 国際自然保護連合の絶滅危惧種レッドリスト（IUCNレッドリスト）に記載されている野生種の捕獲は許可されません。
- ✔ **期待される慣行：**サプライヤーは、自社の業務における生物多様性へのリスクを理解し、軽減するための実証可能な措置を講じる必要があります。期待される慣行は、保護価値の高いの土地で業務を行わないこと、そのような土地の保護を継続しないことです。すべてのサプライヤーが、特に、農業フットプリントを持つものに注意して、以下の慣行を検討する必要があります。
 - ・ 肥料を使わず、家畜がアクセスできない緩衝区域を設ける。
 - ・ 種の再成長を確保するように野生の環境で育った樹木や植物の収穫慣行を管理するようにする。
 - ・ 生物多様性を保護し回復させる慣行の採用に努める。

タンパク質源

食品会社である私たちは、食品は、必要な水や土地の量、栄養素管理、生産のために排出される温室効果ガスなど、環境への影響という点で異なることを認識する責任があります。タンパク質源は高リスクカテゴリーに特定されており、Kraft Heinzはタンパク質源の多様化に積極的に取り組んでいます。

卵、大豆、乳製品、肉などのタンパク質の調達には、世界的なサプライチェーン全体での動物、人々、環境に対する尊重と配慮が必要です。

✔ **期待される慣行：**サプライヤーは、タンパク質調達に伴うリスク領域に対する認識を高め、適宜、ベストプラクティスを採用するように努める必要があります。そのため、サプライヤーは次のことを行う必要があります。

- ・ 食肉および乳製品の生産を通じた、森林破壊の減速と二酸化炭素排出および富栄養化の削減に取り組む。
- ・ 森林伐採に対する飼料関連リスクについての認識を高める。
- ・ 動物の福祉に必要でない限り、抗生物質の使用を禁止する。
- ・ また、動物飼料のサプライチェーンにおける広範なリスクに注意を払いながら、タンパク質が責任を持って調達され、森林伐採関連の活動に結びついていないことを確認する。

持続可能な梱包

廃棄物や気候変動と戦うためには、梱包の継続的な改善が不可欠です。梱包の環境負荷を最小限に抑えることは、あらゆる人にとって優先事項でなければなりません。このような取り組みに向けて、サプライチェーンから不要な梱包材を取り除き、リサイクル、再利用、堆肥化、リサイクル資材の使用に継続的に取り組むとともに、リサイクル不可で未使用の梱包材の量を減らすことが重要です。

✔ **期待される慣行：**Kraft Heinzはサプライヤーと協力し、当社の製造、保管、輸送、流通、販売ネットワークにおいて、より持続可能な梱包手段を活用しています。すべてのサプライヤーがKraft Heinzとのパートナーシップを活用して、サプライチェーンまたは消費者梱包のいずれにおいても、持続可能な梱包の改善を推進することが奨励されます。サプライヤーには、持続可能な梱包イニシアチブを支援して、新しい手法を取り入れ、継続的に改善を行うことが求められます。

化学物質の使用による環境への影響の軽減

化学物質の流出は、不可逆的でない場合でも、私たちの環境に重大な影響を及ぼす可能性があります。企業には、現在および未来の世代に対して、化学物質が環境に与える有害な影響を防ぐために必要なあらゆる措置を講じる責任があります。

✔ **必須要件：**Kraft Heinzは、サプライヤーの業務または農場で 사용되는化学物質に関する透明性を求めています。

✔ **期待される慣行：**すべてのサプライヤーは、以下に取り組む必要があります。

- ・ 必要とされる化学物質の量を減らすための新しい業務実施方法の研究
- ・ 汚染化学物質の使用を必要とする特定のプロセスを回避するための生産技術の変更
- ・ 化学物質やその他の有害物の漏れや流出を防止するためのプロセスの導入、環境負荷を低減するための取り組みの実証

森林伐採

毎年、数百万ヘクタールの森林が失われ、生物多様性や動物生息環境の喪失が進み、気候変動の影響が加速しています。Kraft Heinzは、森林は生命にとって不可欠であること、私たち全員が、森林のこれ以上の破壊に貢献しない責任があることを認識しています。

世界的な森林伐採を遅らせる上で、大豆、砂糖、ココア、乳製品、牛肉、繊維など、主要な食材や原材料の調達は、慎重に検討する必要があります。

パーム油は森林伐採の主な原因の1つであり、そのため、Kraft Heinzは責任を持って調達したパーム油のみを使用するよう努めています。また、すべてのサプライヤーにも、パーム油を責任を持って調達することを求めています。当社製品に使用されるすべてのパーム油の調達源を把握し、その調達源を追跡できることが重要です。

✔ **必須要件：**すべてのサプライヤーは、[Kraft Heinzのパーム油に関するポリシー](#)を遵守しなければなりません。



Kraft Heinzのサプライヤー に対する責任

Kraft Heinzは、サプライヤーが、私たちが毎日より良い仕事をできるようにするための重要なパートナーであることを理解しています。Kraft Heinzは、サプライヤーと取引を行う際に、以下の原則に従います。

- Kraft Heinzは、常にすべてのサプライヤーを正直に、倫理的、公正に扱うよう努めます。Kraft Heinzは、意図的にサプライヤーを誤解させることはありません。
- Kraft Heinzは、正直なサプライヤーの過ちを利用しません。
- Kraft Heinzは、問題や紛争を公正かつ事実に基づいて解決するために努力します。

実践とトレーニング

サプライヤーの実践

サプライヤーは、誠実性とコンプライアンスの文化を維持し、これらのサプライヤー基本原則および関連法の要件に対応する適切なポリシー、管理システム、手順、および人員配置を整えるものとします。これには、サプライヤーの業務内およびサプライヤーの関連サプライチェーン全体で、これらの要件を確実に伝えて、遵守するために、十分な権限をもつ個人を指名することが含まれます。Kraft Heinzは、サプライヤーがこれらの原則の要件への遵守を書面で証明する範囲において、既存のサプライヤーのポリシー、プロセス、ガバナンス構造、および関連するコミュニケーションを認識します。

サプライヤーは、誠実に、およびこれらの原則の要件の遵守を義務付ける方法で、契約を締結し、発注書に署名し、その他の方法で取引関係を結ばなければなりません。サプライヤーは、製品および/またはサービスの納品時に、Kraft Heinzとの関連契約文書に定められている仕様および要件を満たすものとします。

トレーニング

Kraft Heinzは、これらの原則およびその他の関連基準に関するトレーニング資料をサプライヤーに提供します。Kraft Heinzは、Kraft Heinzの業務に携わるすべてのサプライヤーの担当者またはアカウントマネージャーが、これらのトレーニング資料を見直すことを義務付けています。

本ポリシーの遵守を支援するため、サプライヤーは、必須要件および期待される慣行に適宜対応する責任を負います。サプライヤーの既存のポリシーおよび慣行が本ポリシーの必須要件を満たすか、それを上回る場合、そのポリシーおよび慣行に関するサプライヤーの従業員に対するトレーニングおよびコミュニケーションは、この要件を満たす場合があります。



監視とコンプライアンス

サプライヤーには、本ポリシーの遵守を維持するために、積極的な管理アプローチを取ることが求められます。サプライヤーは、本ポリシーの**必須要件**の不遵守の既知の問題を速やかに報告しなければなりません。

監視

Kraft Heinzは、サプライヤーの自己申告（直接サプライヤーの場合はSEDEX、間接サプライヤーの場合はEcoVadis）、認証、質問票、オンライン評価、および/または以下の監査セクションに記載されている外部監査による検証により、サプライヤーの本ポリシーの遵守状況を監視する権利を留保します。

サプライヤーは、Kraft HeinzおよびKraft Heinzが指定する代理人（指定された第三者を含む）が、サプライヤーの施設ごとの監視活動に毎年従事することを承認します。これには、合理的な通知を伴う現場監査が含まれます。Kraft Heinzは、この原則の不遵守の可能性を詳細に調査するため、是正措置の実施を審査するため、または規制当局またはその他の第三者の問い合わせに従うために、追加で監査を実施する権利を留保します。

外部監査

実施されるサプライヤー監査の種類は、サプライヤーがKraft Heinzに提供する製品またはサービスの種類によって決定されます。

- ・ **直接サプライヤー**（原材料、梱包材、完成品に使用される製品のサプライヤー、および外部製造業者）：
 - › SEDEX SMETA監査またはKraft Heinzが承認したその他の第三者による監査。
- ・ **間接サプライヤー**（直接材料ではないサービスまたは物品のサプライヤー）：
 - › EcoVadisの企業の社会的責任評価またはKraft Heinzが承認したその他の第三者による監査。

コンプライアンス違反への対処

Kraft Heinzが、本ポリシーの要件に準拠していないサプライヤーの行為に気付いた場合、Kraft Heinzは、報告された違反を調査し、その結果についてサプライヤーと話し合うために適切な措置を講じます。サプライヤーは調査を支援し、要求された情報へのアクセスを提供するものとします。Kraft Heinzが是正が必要と判断した場合、サプライヤーは速やかに不遵守を是正するための是正措置計画を導入します。

本ポリシーに違反する重大または持続的な行為があった場合、サプライヤーの行動は、個別に評価されます。Kraft Heinzは、本ポリシーに含まれる必須要件のいずれかを満たしていないサプライヤーとの契約または取引関係を終了する権利を留保します。

懸念の報告

サプライヤーは、その従業員が職場での苦情、不正行為、またはこの原則への違反、または法的・倫理的懸念を報告するために、機密のメカニズムを提供しなければなりません。報告された問題には、適時かつ丁寧に対処し、そのような調査から生じた是正措置は文書化しなければなりません。サプライヤーは、違反を誠実に報告する、または調査に協力する従業員に対する報復行為が禁止されていることを保証する必要があります。

サプライヤーおよび/またはサプライヤーの従業員、請負業者、または代理人は、以下についても報告することが奨励されます。

1. これらの原則の不遵守の可能性、または
2. Kraft Heinzの従業員、代表者、その他の代理人による違反または不正行為（Kraft Heinzの倫理・コンプライアンスホットラインに対して）

Kraft Heinz倫理・コンプライアンスホットラインは、独立した第三者によって運営されており、機密が保たれ、多言語に対応しており、24時間いつでも利用できます。報告は、国別のフリーダイヤル番号またはwww.KraftHeinzEthics.comからオンラインで行うことができます。Kraft Heinzは、サプライヤーが、倫理・コンプライアンスホットラインを利用できることを従業員に伝えることを推奨しています。Kraft Heinzは、不正行為の可能性を善意で報告した人またはサプライヤーに対する報復を容認しません。



KraftHeinz

www.KraftHeinzEthics.comにアクセスして、Kraft Heinzの倫理・コンプライアンスホットラインの国別のフリーダイヤル番号にアクセスするか、これらの原則への違反の可能性をオンラインで報告してください。